

2025年2月3日（月）送付枚数：1枚

学生食堂で発生する廃食油のリサイクルプロジェクトを実施 ～愛知学院大学、(株)LEOC、エヌビーエス(株)、 (株)ダイセキ環境ソリューション、豊田通商(株)の連携で SDGsに貢献、持続可能な社会の実現を目指す～

愛知学院大学（愛知県日進市、学長：木村文輝）は、2025年1月より学生食堂で発生する廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料（BDF）として再利用する下記の取り組みを開始しています。

◆取組概要◆

- ・この取り組みは、学生食堂の運営業者である株式会社LEOC、エヌビーエス株式会社をはじめ、株式会社ダイセキ環境ソリューション、豊田通商株式会社との産学連携により実現したものです。愛知学院大学の学生食堂で発生する廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料（BDF）として再生することで、環境負荷を削減し、持続可能な社会の実現を目指します。

◆目的◆

- ・再利用：再生されたバイオディーゼル燃料は、主にトヨタグループ等、地元企業の船舶・車両向け燃料として地産地消で循環利用されます。
- ・SDGsへの貢献：廃食油の再利用は、SDGs目標12「つくる責任、つかう責任」や目標13「気候変動に具体的な対策を」に直接寄与します。また、大学と民間企業の連携を通じて、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」も促進します。

◆期待される効果◆

- ・地産地消による地域貢献：県内で発生した廃食油をその回収から再利用まで地元企業が担い、地元の資源を活用した「地産地消」の形で実施されることから、地産地消の推進に寄与しつつ地域経済の活性化や環境保護を同時に実現することが期待されます。
- ・環境負荷の軽減：廃食油を無駄なく再利用することで、廃棄物の削減と地球環境保全に貢献します。バイオ燃料の使用により、化石燃料への依存が低減され、CO₂排出量削減が期待されます。
- ・学生や地域社会への啓発効果：この取り組みを通じて、学生や地域社会に対してSDGsや環境問題に対する意識を高めることが期待できます。

※取材にお越しいただける場合、下記お問い合わせ先までご連絡いただけると幸いです。

<本件に関するお問合せ>

愛知学院大学 総務部総務課 加藤・山本・鈴木
TEL：0561-73-1111(代) E-mail：somu@dpc.agu.ac.jp